

令和二年度『扶桑風韻』漢詩大会

最優秀賞作品

竹中義剛（三重県四日市市）

夏夜舟行

夏夜舟行

金波蕩漾白雲浮

金波蕩漾
白雲浮かぶ

浩浩灣碕避暑遊

浩浩たる湾碕
避暑の遊

島嶼一千涼萬斛

島嶼一千
涼萬斛

悠然吟月不維舟

悠然月に吟じて舟を維がず

令和二年度『扶桑風韻』漢詩大会

優秀賞作品

近藤昌彦（愛知県名古屋市）

秋夜舟行

秋夜舟行

悲風瑟瑟吹蓬髮

悲風瑟瑟吹蓬髮を吹く

駭浪洶洶弄芥舟

駭浪洶洶芥舟を弄す

悵望絶巔蟾兔冷

悵望す絶巔蟾兔冷ややかに

孤猿啼送一場愁

孤猿啼き送る一場の愁

令和二年度『扶桑風韻』漢詩大会

優秀作品

高橋純子（東京都杉並区）

海畔即事

海畔かいはん即事そくじ

松風謾謾送清涼

松風しょうふう謾謾しよくしよくとして 清涼せいりようを送りおく

碧海渺茫潮氣香

碧海へきかい渺茫びようぼうとして 潮氣ちようき香かんばし

鷗語數聲回首處

鷗語おうご數聲すうせい 首こうべを回めぐらす處ところ

漁舟一片入斜陽

漁舟ぎよしゆう一片いっぺん 斜陽しやように入るい

令和二年度『扶桑風韻』漢詩大会

優秀作品

観水 田沼裕樹（千葉県松戸市）

寶船

宝船たからぶね

三國同舟七福神

三国さんごく 同舟どうしゅう 七福神しちふくじん

各含嬉笑自相親

各おのおの嬉笑きしょうをふく含んで自おのずから相親あいしたしむ

錦帆寶字是何意

錦帆きんぼんの宝字ほうじ 是これ何なんの意いぞ

金玉不如爲善隣

金玉きんぎよくは如しかず 善隣ぜんりんをな為すに